

介護職のための実践研修会(アンケート結果及びGWの内容)

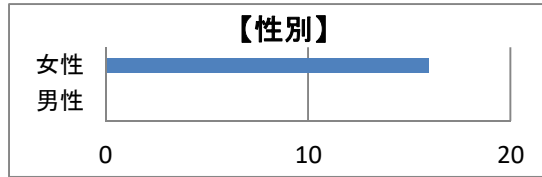
日時:平成28年8月27日(土) 時間:10:00~11:40

参加数:17人 (+講師・ファシリテーター含むスタッフ5人) アンケート回収率 94%

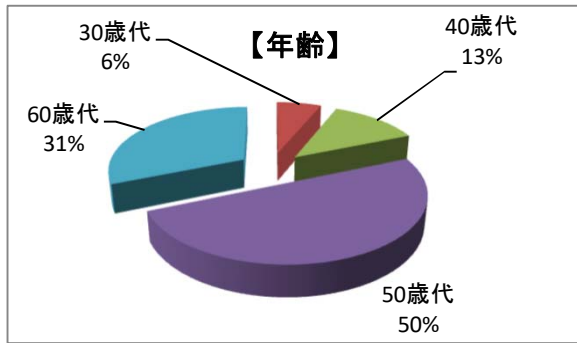


1

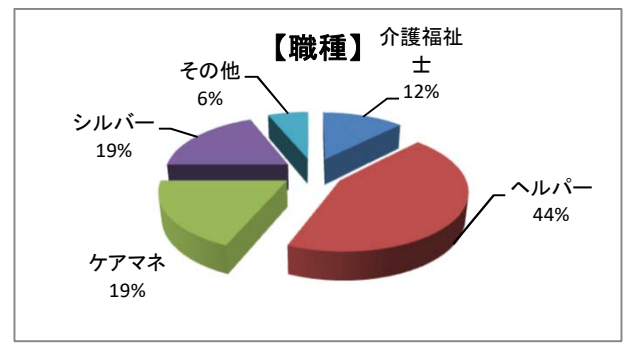
性別	
男性	0
女性	16



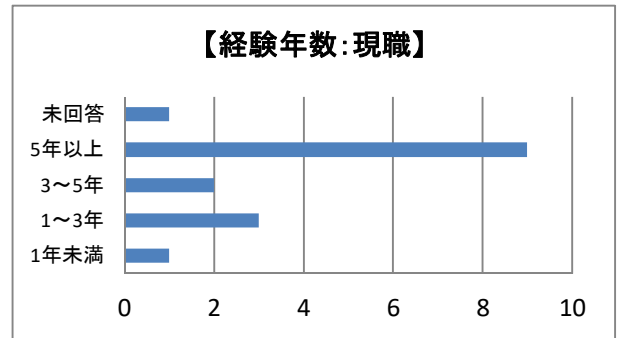
年齢				
30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
0	1	2	8	5



職種				
介護福祉士	ヘルパー	ケアマネ	シルバー	その他
2	7	3	3	1

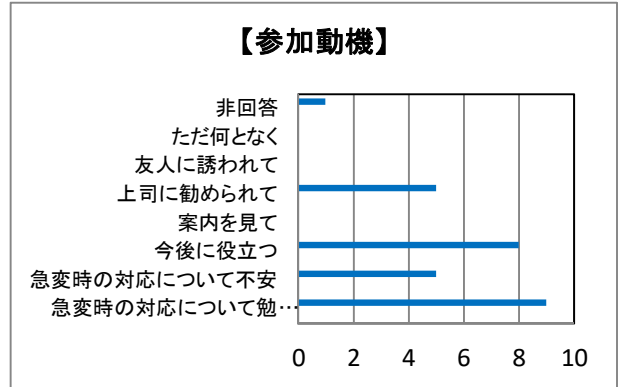


経験年数(現職)				
1年未満	1~3年	3~5年	5年以上	未回答
1	3	2	9	1



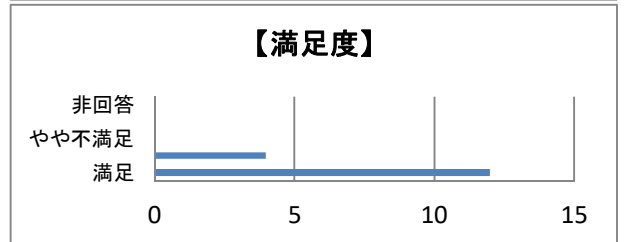
2

参加動機 (複数回答)	
急変時の対応について勉強したい	9
急変時の対応について不安	5
今後に役立つ	8
案内を見て	0
上司に勧められて	5
友人に誘われて	0
ただ何となく	0
非回答	1



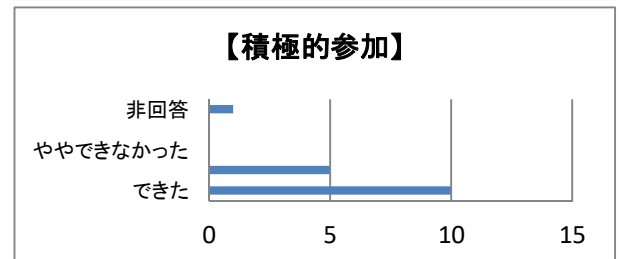
3

研修満足度				
満足	やや満足	やや不満足	不満足	非回答
12	4	0	0	0



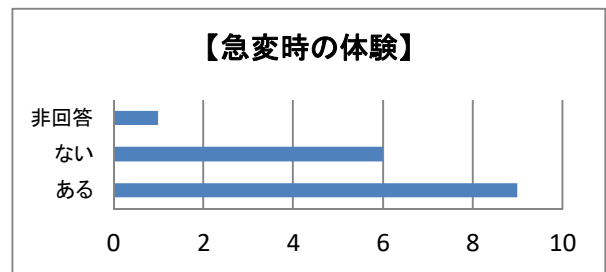
4

GWには積極的に参加できたか				
できた	ややできた	ややできなかった	できなかった	非回答
10	5	0	0	1



5

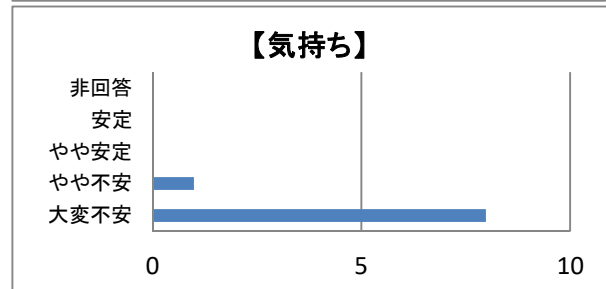
急変時の体験		
ある	ない	非回答
9	6	1



6 急変時の体験が「ある」と回答した方へ

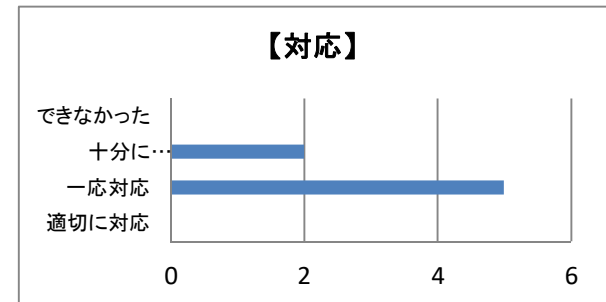
1)

その時の気持ち				
大変不安	やや不安	やや安定	安定	非回答
8	1	0	0	0



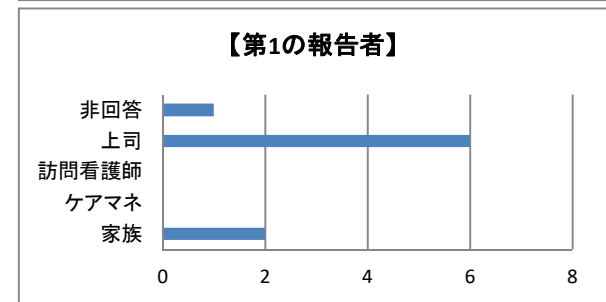
2)

その時の対応				
適切に対応	一応対応	十分にできなかった	できなかった	非回答
0	5	2	0	2



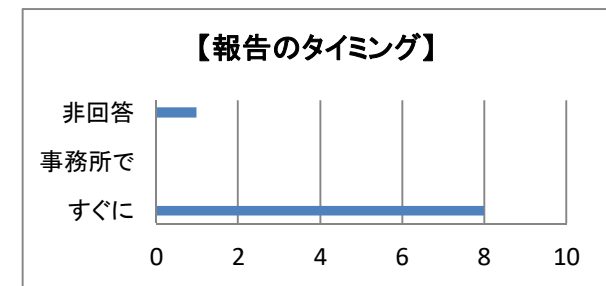
3)

第1の報告者				
家族	ケアマネ	訪問看護師	上司	非回答
2	0	0	6	1



4)

報告のタイミング				
すぐに	ケア終了後	事務所で	報告せず	非回答
8	0	0	0	1



○研修満足度の意見

- 記録の大切さ、事前のコミュニケーションの大切を実感しました。
- ケアマネの立場として、改めて緊急連絡、緊急体制の再確認できました。
- 報告、伝達、記録が大事と言う事は、改めて思いました。一人でなく連携を持って行動する事の大切さを感じました。
- 報告連絡相談と記録の書き方、急変時の救命処置ができていたかと言う事を教えて頂いたので事務所で今回の研修の事を話したいと思えます。
- 先生の体験が聞けてよかったです。自分の経験がまだ浅いので急変時の対応には不安が一杯です。
- 利用者様の急変時、落ち着いて対応。連絡・記録をしっかりと取る事。
- 事例を通して、どのように対処したらよいか理解できた。報告連絡の大切さ、改めて感じる事ができた。
- 実例に乗っ取って勧められたので分かり易かった。
- 色々なケースのお話が聞け、対応についても勉強になりました。メモの大事さ。
- 参加された方、色々な職場で活躍されていて私の仕事外の業務が分かり良かった。
- 皆さんの経験や、訪問した時の対応など聞けてよかったですと思いました。
- 岸本さんの話が役に立って良かった。色々又聞きたいと思った。
- 情報が共有できてよかったです。
- もっと聞きたい位です。よく分かりました。



○グループワークに積極的に参加できたか

- ・ 皆様々な経験をされている方で、貴重な情報を頂きました。
- ・ 皆さん、話をすると感じよく、聴いたり話されたりしました。
- ・ 他の方々、色々と経験されている
- ・ 日頃の思いを話す事ができた。
- ・ ケアマネさんもおられ、親切的な討論ができて良かった。
- ・ 私の仕事(おばあちゃんの見守り)の話をして心配な事、こんなことをしていると話して皆さんよく聴いて下さいました。
- ・ 経験が豊かでいろいろ話し合いができて良かった。聞かせてもらえ良かった。
- ・ 色々な意見が聞けてよかった。

○ご意見、ご感想、研修会の希望など

- ・ 多職種連携、とても貴重な体験になりました。救命について。
- ・ 研修会に参加する事はとても心が元気になるなあと感じました。
- ・ 認知症のケースもまたお聞きしたいです。
- ・ また研修会があれば参加したいです。



「どんな時、困ったかを共有」

《1グループ》

- ・ 訪問時に転倒されていた
- ・ 飲まず食わずで意識はあったが、一昼夜そのままでおられた、おしっこも出していない状態だった
- ・ 救急車が車での間、待つ間どうすればいいのか

《2グループ》

- ・ 訪問したら下痢、嘔吐が続いていた、他症状は特になかったことから、訪問したヘルパー、その連絡を受けたヘルパー2人ともそのまま様子見るの判断をした。しかし、その内容を聞いたたまたま他で同症状で腸閉塞だったという経験があったことから、病院搬送の指示となった。
結果、腸が裂けていた。
- ・ 入浴前の血圧がものすごく上がっていて、ケアマネ、訪問看護師に相談したことがあるが本人は値を見てパニックになる。入浴してよいかの判断に迷う
- ・ 訪問時、いつも開いている玄関が閉まっていた返事もなかったので、窓から入って確認したところ浴槽の中で亡くなっておられた。上司に報告して救急車を呼んでもらった。
あとで同僚と話した時、カギが閉まっていたらそのまま帰るといった人もいた。
- ・ 二人暮らしの奥さんにヘルパーが入っていたが、訪問時そのご主人が風呂場で亡くなっていた。奥さんは寝たきりで、異変に気づいていたがどうにもできなかった。ヘルパーが朝訪問して発見となった。

《3グループ》

- ・ 認知症の方に対する接し方が分からない。何回も同じことを言われる。・・・頭では(短期記憶障害と)解っているのだが・・・
- ・ 昔、亡くなった、お兄さんの事を生きていると思って話される。お盆でもある、思い出されたのか？
認知症は軽い方なのだけど・・・どのように会話を進めればよかったか？(話を切り替えるなど)
- ・ 食事中に咳き込みがあり、家族がいたので報告できたが一人暮らしの場合はどうしたらいいのか？

《4グループ》

- ・ 独居の方が倒れていた。→直ぐに行動
(情報を予め共有、医療系のサービスの場合は第一に連絡、急変時の役割、日頃から想定)
- ・ 独居の方で認知症。急に怒り出したりと症状の対応が大変。(拒否に対して)
- ・ 救急搬送するべきか、病院に行ってもいいのか判断に迷う。事前に打ち合わせしていたのか？
- ・ ヘルパーが急変時に対応する知識と判断